

ウイルス性出血熱の症状

ウイルス性出血熱は
細菌感染から通常4-21日後に
以下のような症状が現れます：

発熱

疲労感

めまい

発疹

筋肉痛

体力喪失

脱力感

重症例では皮下出血、
内臓の出血、あるいは口、
目、肛門などからの
出血を起こします。

重症の患者にはショック状態、
昏睡、幻覚、発作または
腎機能不全などの症状が
見られることもあります。

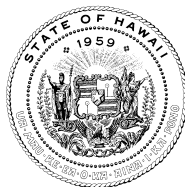
詳しい情報は

Aloha United Way



www.hawaii.gov/doh

または
www.cdc.gov



ハワイ州保健局は人種、肌の色、国籍（言語を含む）、年齢、性別、信仰、および障害の有無にかかわらず、そのプログラムと活動を利用する権利をすべての人に提供します。

問題が起きた場合は、180日以内に書面もしくは電話にて差別撤廃措置担当者までご連絡ください。
Box 3378, Honolulu, HI 96801-3378 または
(808)586-4616（音声メールボックス）

11/03 Japanese

ウイルス性出血熱

(Viral Hemorrhagic Fever)



ハワイ州保健局
www.hawaii.gov/doh
お問い合わせやご相談は
2-1-1までお電話ください。

ウイルス性出血熱とは？

ウイルス性出血熱（VHF）とは、いくつかの異なるウイルスの科に属し、またその多くが生命にかかわる病気の原因になるウイルスによって起こされる感染症の総称です。これらの病気は多くの場合に出血を伴うことから、「出血性」と呼ばれています。ウイルス性出血熱と関連しているウイルスは一般的に動物やダニ、蚊に見られます。ウイルスはこれらの「宿主」に生存を完全に依存しています。



ウイルスはこれらの「宿主」に生存を完全に依存しています。

感染経路は？

ウイルス性出血熱の人間への感染経路は：

- 感染したネズミの糞尿、唾液、その他の体液との接触
- 感染した蚊やダニによる虫刺され
- さらに、保菌動物の中には家畜など他の動物にウイルスを移すものもいます。その場合、家畜の世話や屠殺をした時に人間が感染する可能性があります。



出血熱を起こすウイルスには、第一感染者が発生すると次々に人間に伝染するものがあります。この種類の二次感染は、感染患者や患者の体液と近距離で接触を持つことにより引き起こされます。また、感染患者の体液で汚染された注射器や注射針などによっても間接的に感染します。

人間から人間へと伝染するこれらの出血熱ウイルスに対しては、感染患者や患者の体液と近距離で接触を持つことを避けることが、病気の蔓延を防ぐ最良の方法です。

症状は？

ウイルス性出血熱は細菌感染から通常4-21日後に以下のような症状が現れます：

- 発熱
- 疲労感
- めまい
- 発疹
- 筋肉痛
- 体力喪失
- 脱力感



重症例では皮下出血、内臓の出血、あるいは口、目、肛門などからの出血を起こします。

重症の患者にはショック状態、昏睡、幻覚、発作または腎機能不全などの症状が見られることもあります。

治療方法は？

患者は入院し対象治療を受けます。ウイルス性出血熱に対する特定の治療法はありません。



感染の発見方法は？

細菌感染の4-21日後に症状が現れるまでは、感染したことに気がつきません。症状と病気の形態に基づいて診断が下されます。血液と組織の確認検査には数日かかることもあります。

感染後の対処方法は？



即座に治療を受けてください。また、医師に感染の可能性があることを伝えてください。気分が悪い場合は他人との接触を制限し、発熱や発疹の兆候をみながら、自分の健康状態を観察してください。

発生場所は？

ウイルス性出血熱の病原体ウイルスは世界中に生息しています。しかし、各ウイルスは一種もしくは多種の特定保菌動物内に生息しているため、ウイルスおよび病気は通常保菌動物の生息地でのみ発見されます。毎年旅行者の数が増加するにしたいがい、今まで起こらなかった地域においてもこれらの病気の発生が拡大する危険性が高まっています。

なぜウイルス性出血熱が生物兵器として警戒されているのですか？

ウイルス性出血熱の病原体の中には伝染性が強く、致死率の高いものがあり、また病原体のほとんどに対して特効薬や特定の治療法がありません。病気は感染後最長21日後まで発生しないために、その間に広範囲にわたる地域に広がる可能性があります。

ペットや他の動物が感染する可能性は？

はい、動物もウイルス性出血熱にかかります。ご自分のペットや動物が感染したと思われる場合は、直ちに獣医の治療を受けてください。ウイルスの中にはダニやノミ、蚊を媒体に人間に伝染する恐れがあります。

